

# ZENNE QUARTET



日・ベルギー友好  
160周年  
記念公演

TOKYO  
Concert 2026

## PROGRAM

ボロディン A. Borodin  
弦楽四重奏曲 第2番 ニ長調  
String Quartet No. 2 in D major

ワルテール・ウス Walter Hus (1959~)  
ファイヴ・トゥ・ファイヴ  
Five to Five

メンデルスゾーン F. Mendelssohn  
弦楽四重奏曲 第2番 イ短調  
String Quartet No. 2 in A minor, Op. 13

© Isabelle Francaix

2026 11.21 土 14:00開演 (13:30開場)  
東京オペラシティ リサイタルホール 東京都新宿区西新宿3-20-2

Ticket

全席自由

一般 4,500円  
学生 3,000円

東京オペラシティチケットセンター  
TEL. 03-5353-9999 (10時~18時)  
※月曜定休日/店頭販売は11時~19時



<https://teket.jp/18654/71655>



お問い合わせ: CBticketservice@gmail.com

主催: 一般財団法人PAOS  
後援: 駐日ベルギー大使館



EMBASSY OF BELGIUM  
IN JAPAN  
駐日ベルギー大使館



FÉDÉRATION  
WALLONIE-BRUXELLES



日本 - ベルギー  
Japan-Belgium  
1866-2026



brussel



Wallonie - Bruxelles  
International.be



© Isabelle Francaix

# ZENNE QUARTET

## ✦ 日・ベルギー友好160周年記念公演 ✦

2026年、日本とベルギーの友好160周年という記念すべき節目に、両国大使館および国内外の多くの方々のご協力を得て、東京オペラシティでの公演が遂に実現の運びとなりました。両国の深き友好を音楽で繋ぐ架け橋となるべく、精一杯の演奏を日本の皆様へお届けします。

## 作曲家・ピアニスト ワルテル・ウス *Walter Hus*

ベルギー出身。常に革新的な試みに挑み続ける、現代音楽界の鬼才。1980年代に伝説的なアヴァンギャルド・グループ「Maximalist!」を結成し世界を席巻。その後はクラシック作曲家として、オーケストラ、ロック、テクノ、映画、ゲーム音楽など、ジャンルを超越したコラボレーションを次々と成功させる。2015年には映画音楽でベルギーの権威あるエンソール賞を受賞。

2000年からは、コンピューター制御された自動演奏楽器群「デキャップ・オーケストリオン」を用いた独自の音響世界を展開。2026年1月には、ゼン・カルテット (Zenne Quartet) との共演により、弦楽四重奏とこの自動演奏楽器が対話する新作コンチェルトをブリュッセルで世界初演した。

現在、名門レーベル「Sub Rosa」にて、同カルテットによる弦楽四重奏曲全曲録音プロジェクトが進行中。

2025年に待望の第1弾アルバムがリリースされ、2026年秋には第2弾の発売が控える。

音楽の未来を切り拓き続ける、いま最も注目すべき巨匠の一人である。

Violin クレール・ブルデ *Claire Bourdet*

Violin 細田千香子 *Chikako Hosoda*

Viola キャレル・コニクス *Karel Coninx*

Cello ダヴィッド・ポスカン *David Poskin*

欧州の「今」を呼吸する、ベルギー・ブリュッセルの実力派。

ゼン・カルテットは、EC(欧州委員会)の「Next Generation EU(次世代EU)」プログラムに抜擢され、音楽界から熱い視線を集めるベルギー・ブリュッセル発の弦楽四重奏団です。

彼らの最大の魅力は、クラシックの偉大な名作に対し、深い洞察をもって新たな鼓動を与えると同時に、「現代(いま)」を生きる音楽を圧倒的な熱量で聴衆へと届けるという、伝統と現代を結びつけるアプローチにあります。これまでの活動では、フェスティバル「Flagey」や「Walden Festival」をはじめ、欧州各地の主要ステージで絶賛を浴び、また鬼才ベルギー人作曲家ワルテル・ウス (Walter Hus) 氏の弦楽四重奏曲全曲録音プロジェクトや、その軌跡を追ったドキュメンタリー映画への出演など、現代音楽シーンの最前線を牽引し続けています。

また、彼らは「音楽による社会貢献」を誰よりも信じ、行動してきたカルテットです。教育面では、モンス王立音楽院で後進の作曲家育成に尽力してきました。また文化振興面では、多様な文化が交差するブリュッセルにおいて、国境や世代を超えて誰もが音楽に触れられる先駆的な室内楽シリーズを主宰しています。その「人と人、人と音楽のつながりを紡ぐ」真摯な活動は、ベルギー政府(ワロニー・ブリュッセル連邦、フラマン語共同体委員)や各地域の行政からも数年にわたり最大級の支援を受けており、欧州の音楽界で極めて高い信頼を得ています。

デジタル化が進む現代だからこそ、こだわり続ける「生演奏(ライブ)の圧倒的な臨場感」と「聴衆との心の距離の近さ」。

ヨーロッパの第一線で磨き抜かれた、豊潤で、どこまでも温かいアンサンブル。

満を持して迎える東京オペラシティの舞台上で、彼らが紡ぎ出す「つながりの物語」を、ぜひ目撃してください。



© Pierre Radisic